


生理学女性研究者の会

NEWSLETTER

No. 20

January 2005

目次

- 国際競争と国際協力 (金子章道) - 2**
とてもお忙しい金子章道生理学学会会長に WPJ ニュースレターに何か書いて下さいとお願いし、ようやくそれが実現しました。内容は日本の科学者全体へのメッセージとなっています。
- 日本生理学学会奨励賞を受賞して (高橋倫子) - 3**
第2回 WPJ ワークショップで講演して下さった生理学研究所の高橋倫子さんが、第5回日本生理学学会奨励賞を受賞されました。ワークショップで披露された高度な技術を駆使したすばらしい研究のため息が出てしまったことを思い出しました。
- 「IBM におけるメンタリングプログラム」講演内容 - 3**
昨年の札幌での生理学学会期間中に開催された、日本アイ・ビー・エム株式会社理事の渡辺善子さんによる講演内容を簡単に御紹介します。「メンタリング」は何も女性のみ対象にしたものではなかったのですね。勉強になりました。
- 「メンター制を考える」アンケート集計結果 - 4**
日本生理学学会の男女共同参画委員会では「アドバイザー制度」の構築を検討しています。その基礎資料として、昨年の札幌での生理学学会期間中に「メンター制を考える」アンケート調査が行われました。その結果を紹介します。
- 私の研究遍歴 (松本緑) - 6**
光合成電子伝達系の酵素の精製から概日リズム、癌遺伝子をへて受精、アロ認識、生殖戦略転換へと多様なテーマで研究を行って来られた松本緑さんの研究遍歴です。
- ものをつくる楽しさ (初山明子) - 8**
日本の女性神経生理学者のトップランナーであった初山明子さん(前 WPJ 会員)が、研究者から宝石デザイナーへと大転身しました。「どうして？」

コラソソリング1号
- と思う WPJ 会員の疑問に答え、彼女自身に今の生活について書いていただきました。
- 研究者育成と女性 (澤田美智子) - 9**
澤田美智子さんは研究職員数約 2400 名を擁する独立行政法人・産業技術総合研究所で副研究部門長として、優秀な研究人材を発掘採用し、その後の研究をサポートするお仕事をされています。そのお立場から女性研究者はどのように見えるのでしょうか。
- アンケート「男性研究者から見た女性研究者」I - 10**
職場であるいは家庭で男性研究者は女性研究者に対してどのようなことを感じているのでしょうか。また長期にわたり女性研究者のキャリアに影響を及ぼす育児についてその本音を知りたい、という目的でアンケートを企画しました。
- 生理学学会の保育室体験記 (宮津真寿美) - 13**
福岡、札幌と 2 回生理学学会の保育室を利用された宮津真寿美さんが、学会に子供を連れて行くことの大変さと、生理学学会保育室の良さを書いて下さいました。
- 本の紹介「生命の未来」(玄番央恵) - 14**
“生物の多様性を知ることの意義”を考えさせる E. O. Wilson 著、山下篤子訳の「生命の未来」を紹介していただきました。我々にとっての敵を見つけては駆逐することが果たしてよいことなのか。
- WPJ 主催イベントのご案内 - 14**
5 月に仙台で開催される生理学学会の期間中およびその直後に、WPJ 主催の「第 11 回生理学女性研究者の集い」および「第 3 回 WPJ ワークショップ」を開催いたします。ワークショップは WPJ10 周年記念行事の一つとして開かれます。
- 事務局日誌・寄付の報告・会員消息 - 15**
- 編集後記 - 16**